

## 令和2年度事業報告

(自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日)

全日本剣道連盟

本連盟は、令和2年9月16日に内閣総理大臣から公益財団法人の認定を受けた。このため、令和2年4月1日から同年9月15日までの一般財団法人としての事業報告を作成し、公表した。しかしながら本連盟は、各種事業を年度事業計画に基づき実施していることから、改めて一般財団法人、公益財団法人を通じた令和2年度年間での事業報告を行うものである。

さて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、計画した事業のほとんどが中止を余儀なくされたが、その中でも、多くの剣道人が待ち望んでいた称号・段位審査は、一部日程や形式を変更したものの、ほぼ予定通り実施した。また、中学校武道必修化に対する支援事業については、リモートを通じて実施することができた。

大会関係では、行事日程表（別添1）のとおり、主催9大会は、全日本剣道選手権大会及び全日本女子剣道選手権大会の2大会のみの開催となり、他の大会は中止となった。共催9大会も全国高等学校剣道選抜大会のみの1大会開催となった。また主管大会としての国民体育大会剣道大会（（公財）日本スポーツ協会の委託）も中止となった。

また、行事日程表に記載の後援大会28大会も全て中止となった。

財務面も年度での報告とする。収支計算書の事業活動収入計は489百万円、事業活動支出計は427百万円、事業活動収支差額は、予算では▲45百万円のところ、実績は62百万円となった。投資活動収支差額は53百万円、当期収支差額は115百万円、次期繰越収支差額は149百万円となった。

### 1. 普及

令和元年12月に顕在化したコロナウイルス感染症の拡大により、当委員会の各種事業や行事の多くは、延期又は中止とせざるを得なかった。【剣道の質向上と普及に努める】を主目的とし、重点事項6項目を掲げ、次の通り活動した。

- (1) 普及・指導・教育活動の効果を高めるため、各種大会、研修会、講習会等の状況把握と検討により、一層の充実を図る。
- ①全日本女子剣道選手権大会の趣旨記載内容を検証し、より分かり易い記載内容を提案し改正した。
- ②中央講習会の講習内容の柱を暫定的に、「ガバナンス・コンプライアンス」「コロナウイルス対策並びにコロナウイルス禍における指導の在り方」「暫定試合審判法」とした。
- ③幼少年、女性並びに高齢者各層における具体的な普及策の検討を継続した。
- (2) 各都道府県剣道連盟が主催する全剣連後援講習会の位置づけを明確にして、講習会の実施方法等を見直し、講習内容の充実を図る。
- ①「地域で幼少年を育てる」ことや全剣連の財政上の観点を鑑み、各地域での剣道環境の整備、例えば講習会や普及活動等は、各ブロック及び各剣連での開催とし、全剣連は必要に応じ助言・支援する方向性を検討することとした。
- (3) 「剣道の良さ」を普及させるための各都道府県剣道連盟の活動を支援する。  
具体的な活動は出来なかった。
- (4) 各専門委員会と協働し、全剣連の掲げる重点事項の遂行を支援する。
- ①『剣道の理念』の理解を深めるため、【『剣の理法』について考える活動】を継続し、PJチームとしての草案を作成した。
- (5) 各専門委員会と連携して普及活動に取り組み、各関連団体が行う普及・指導・教育活動を支援する。
- ①「中学生」を対象とした普及活動の一環として、地域における「中学生の活動」の受け皿作りの具体的検討を継続し、中体連並びに高体連の関係者と意見交換を行い問題点の把握に努めた。
- ②草の根的な普及活動に注視し、わずかではあるが、対象者と面談を行った。
- (6) 剣道指導要領に則った所作・礼法の普及を図る。  
具体的な活動は出来なかった。

コロナウイルス禍を逆に好機と捉え、積年にわたる社会の変化に伴い剣道界に生じた諸現象、並びに、社会からの要望等に、真正面から取り組む良い機会となった。

## 2. 学校教育関連

- (1) スポーツ庁委託事業「令和2年度武道等指導充実・資質向上支援事業」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、以下の通り実施した。
- ①令和3年度新中学校学習指導要領の全面実施に向けて、「新中学校学習指導要

領に準拠した安全で効果的な剣道授業の展開ダイジェスト版第4版」を指導書として刊行し、全国中学校や都道府県・市町村教育委員会および都道府県剣道連盟関係者等へ配布した。また、本連盟ホームページに掲載して授業協力者及び教育関係者に対し新学習指導要領の内容等について理解を深めさせた。さらに、コロナ禍での学校における剣道指導の手引きとして「新型コロナウイルス感染症予防に留意した中学校における剣道授業の展開（手引き）」を作成し、同ホームページに掲載した。

中央講師・コーディネーター研修会は、オンライン会議により支援事業実施内容等についての理解と協力依頼を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、各都道府県における授業協力者指導充実・資質向上講習会は20道府県が実施され、全国授業協力者総数は3,985名となった。さらに、公開授業は1県の実施にとどまり、中学校への授業協力者採用数は昨年度481名から274名に減少した。

- ②日本武道館、全日本学校剣道連盟との共催である中学校における剣道が専門でない先生方を対象とした全国剣道指導者研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止とした。
- (2) 新規事業として、日本武道協議会設立45周年記念事業である『少年少女武道指導書（DVD付）』（剣道版）の作成に協力した。町道場等そして中学校の授業や部活動で剣道を学ぶ少年少女を対象とし、加えて小学校への武道教育導入に向け、具体的な学習内容等を検討し剣道指導書案を提示した。
- (3) 中学校及び高等学校の剣道部活動と部活動指導員の活用の実態等を把握し課題等について方策を検討した。特に、令和5年度以降の休日における中学校部活動の地域への段階的な移行を意図したスポーツ庁「令和3年度地域運動部活動推進事業（新規）」の動向等について理解を深め、今後の対応について検討を行った。

### 3. 指導

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各行事が中止となり、本部会の重点事項の多くを実施できなかつたが、重点事項2（「日本剣道形」「木刀による剣道基本技稽古法」「竹刀稽古法」の位置づけとつながりを踏まえた各々の指導法の充実を図る）、および、重点事項5（本連盟刊行の「剣道指導要領」「剣道講習会資料」「日本剣道形解説書」「木刀による剣道基本技稽古法」「剣道社会体育教本」「剣道授業の展開」の活用を図る。）の研究のために、以下(1)(2)(3)の検討をメール審議及びZOOM会議で実施した。

(1) 新型コロナウイルス感染症蔓延防止における、マスクを装着しての呼吸法と発

声方法。

- (2) ソーシャルディスタンス確保からみた「不当な鍔せり合いにならない指導」の方法。
- (3) 医科学委員会からの助言をいただきつつ、新型コロナウイルス感染症蔓延下において「剣道の稽古法および指導の在り方のガイドライン」を作成した。

なお、(3)については、第55回剣道東・西日本中央講習会の代替講習資料として公開した。また医科学委員会から助言を受けたことは、重点事項6（国内外の各層・各領域に剣道を正しく普及させるため、関連の専門委員会と連携しながらより適切な指導法のあり方を検討する。）に相当することとなった。

#### 4. 女子

女子委員会は「女子剣道の普及と質の向上を図る」を目標に次の重点事項（1）～（4）について、それぞれ活動を進めてきた。

- (1) 女子剣道指導者の育成及び指導力の向上や女子審判員の育成及び技能の向上を図る。

女性指導者の役割の一つとして、剣道の裾野を広げる事が挙げられる。女性特有の母性本能的な優しさは、幼少年指導に適している。子どもたちに興味を持たせつつ、正しい剣道を学ばせると共に、技能を高めながら子どもの「心」を育てる指導が望まれる。また、少年少女への剣道普及は女性・特に母親の影響力が大きく、さらに女性の剣道普及は剣道界全体の活性化に効果があると考える。そこで女性の指導力向上の一環として「幼少年指導における初心者指導」を検討し、指導案を作成した。次年度、女子指導者講習会時に女子委員会より講師として参加し、「幼少年指導における初心者指導」の指導にあたる計画を進めた。女子審判員の育成及び技能の向上に関連して、令和3年3月14日開催の第59回全日本女子剣道選手権大会での観察がなされ、女性審判員の課題などが共有された。

- (2) 指導部会ならびに試合・審判委員会との連携及び指導を得ながら、指導者講習会及び女子審判講習会においての女子講師の育成を図る。

男性審判員に比べると女性審判員の活用率は低いのが現状である。それは、審判技能の未熟さや信頼度の低さが原因ではないかと推測した。そこで、指導部会や試合審判委員会との連携を図りながら審判講習等を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染対策考慮のため中止せざる得ない事となった。次年度、継続して取り組んでいく。

- (3) 女子剣道の普及・推進を図るために、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会出場

枠増への実施を計画するなど、魅力ある女子大会の改革を図る。

令和3年度奈良県で開催される全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会では、例年通り5人制の大会であるが。令和4年度日本武道館会場より、出場選手人数枠を7人制にし、魅力ある大会にできるよう検討した。

- (4) 子育て中の女性剣道の普及を図るために、女性が参加しやすい大会や講習会時の支援方策を検討する。

子育て中の女性は、大会離れや剣道離れを余儀なくされている。将来を担う子育て中の女性のために、大会や講習会の保育室設置等による支援方策を検討し、参加しやすい環境づくりを進めた。その成果として、令和3年度奈良県で開催予定の全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会より、保育士常時滞在による保育室が設置される事になった。

女子剣道の普及と質の向上のために広報活動を活性化させる広報活動の一環としては、全剣連ホームページや全剣連月刊広報誌「剣窓」に掲載できるように取り組んだ。具体的には、「剣窓」に「昇段審査受審に向けた修練の視点」を掲載し、女性剣道愛好者の方々が、夢と希望を持って精進していく様子を試みた。

## 5. 称号・段級位

- (1) 称号審査・段位審査

①称号審査は、審査員選考委員会において審査員を選考して、2回（4月・11月）実施した。錬士の称号は小論文提出であり、通常時の教士の称号は筆記試験としているが、Covid-19 の感染防止措置により一部変更して実施した。三道で新たに錬士1, 277名（剣道1,165名・居合道94名・杖道18名）、教士1, 082名（剣道1,018名・居合道58名・杖道6名）が誕生した。範士審査は、年1回（7月実施、5月付授与）実施され、剣道5名、居合道2名、杖道1名の計8名の範士が誕生した。

②六段以上の段位審査は、8月までに開催を予定していた審査会の一部が Covid-19 感染拡大の影響により延期または中止となつたが、剣道・居合道・杖道で計25回の審査会を実施した。剣道の総受審者数は、7, 770名と前年度と比べて50%減少となつた。

令和2年度 六段ないし八段の合格者数 ( ) 内は女子で内数

種別 段位	剣道	居合道	杖道	合計
六段	706 (70)	82 (15)	19 (5)	807 (90)
七段	569 (44)	37 (8)	6 (1)	612 (53)
八段	10 (0)	4 (0)	0 (0)	14 (0)
合計	1,285 (114)	123 (23)	25 (6)	1,433 (143)

令和3年3月31日現在

また、本連盟の委任により各都道府県剣連が実施している初段ないし五段の審査の合格者 総数は、令和3年3月末日現在で52,017名であり、詳細については次の表の通りである

令和2年度 初段ないし五段の合格者数 ( ) 内は女子で内数

種別 段位	剣道	居合道	杖道	合計
初段	22,641 (8,626)	587 (206)	172 (64)	23,400 (8,896)
二段	15,683 (5,690)	498 (153)	135 (28)	16,316 (5,871)
三段	7,916 (2,588)	378 (93)	148 (36)	8,442 (2,717)
四段	1,999 (439)	248 (53)	84 (17)	2,331 (509)
五段	1,275 (166)	196 (41)	57 (9)	1,528 (216)
合計	49,514 (17,509)	1,907 (546)	596 (154)	52,017 (18,209)

令和3年3月31日現在

- (2) 称号の受審に関して、地方団体の推薦条件を調査し、団体間の格差を調整し称号受審を促進するため各団体へ要請を実施した。

## 6. 試合・審判

- (1) 審判員としての適正な試合運営能力および指導力の向上のため実践的研修を行う。
- ①講師要員（試合・審判法）研修会（42回、43回）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
- ②東・西日本中央講習会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
- ③後援講習会への講師派遣について、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
- ④新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法ブロック

研修会を実施した。

- ・令和2年11月23日（日）東海ブロック研修会 参加者24名
- ・令和2年11月28日（土）近畿ブロック研修会 参加者31名
- ・令和2年11月29日（日）九州ブロック研修会 参加者34名
- ・令和2年11月29日（日）中国ブロック研修会 参加者28名
- ・令和2年11月30日（月）北海道ブロック研修会 参加者10名
- ・令和2年12月6日（日）関東ブロック研修会 参加者28名
- ・令和2年12月12日（土）北陸ブロック研修会 参加者19名
- ・令和2年12月13日（日）東北ブロック研修会 参加者30名
- ・令和2年12月19日（日）四国ブロック研修会 参加者20名

参加者計224名

⑤コロナ禍に於ける試合審判法の共通認識を深めるため、全日本剣道選手権大会・全日本女子剣道選手権大会前日に、審判研修会を出場選手と合同で実施し、感染症予防を念頭に、つば競り合いを避ける意識の徹底と、防御姿勢で接近した不当行為の確認、禁止事項等の確認を行った。

(2) 研修会・講習会を通じ女子審判員の育成、審判技術の向上を図る。

女子審判員の育成と審判技能の向上を図り、女子審判員の充実を目的に本年度より女子審判講習会1回、研修会2回を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。

(3) 各国の審判員育成ならびに審判技術の向上に向け支援を行う。

第18回世界剣道選手権大会に向けて、審判員の育成・支援も踏まえ、各ゾーン（アジア、アメリカ、ヨーロッパ）で行われる審判講習会について検討したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。

(4) 剣道用具の仕様の適正化を図る。

令和2年度も引き続き、医・科学委員会等との協力のもと「剣道具及び竹刀安全性検討特別小委員会」を設置し、現状について把握に努め剣道具の仕様について継続調査を行った。また、竹刀関連の重大事故等について、調査研究を行った。

## 7. 強化

強化委員会は、剣道理念に基づき、剣道修練の心構えを踏まえて、指導目的に沿った我が国固有の伝統文化である剣道を正しく継承し、剣道の力量・質等を兼ね備えた剣士の育成・強化を図ることを目的に、令和2年度は以下の事業を計画した。しかし、年度当

初からのコロナ禍により殆どの事業が中止となった。詳細を以下に報告する。

(1) 第18回世界剣道選手権大会（18WKC）に向けた全日本代表候補選手の強化

17WKC以降、強化訓練は、全剣連役員各位、強化委員会そして強化訓練講師などの指導体制を確立し、本事業を推進してきた。本年度は強化訓練講習会から強化合宿に名を変え、月1回男女述べ24回の代表候補合宿を計画したが、年度当初からのコロナ禍により、強化合宿は中止を余儀なくされ、7月に男女合同強化合宿（奈良市）を実施したもの、その後は再び年度末までの強化合宿は中止となった。なお、5月にフランスで開催が予定されていた18WKCは中止となったが、次期開催されるWKCに向けて再起動したいところである。

(2) 各都道府県剣道連盟の中核となる剣士の鍛成強化（中堅剣士講習会）

各剣道連盟の指導者としての能力の養成を図ることを目的に、多くの八段位を取得者、中枢的な指導者を輩出してきた本講習会は、昨年度までに57回の実施を重ねた歴史ある事業である。しかしながら、コロナ禍により令和2年度の実施は叶わなかった。次年度の講習会開催を願うところである。

(3) 剣道の将来を担う青年層の剣士を育成する選抜特別訓練講習会（骨太）

本事業は、全国から青年層の中核となる剣士を各セクション（高校生、大学生、教職員、実業団、自衛官、刑務官、警察職員）から選抜し、勝利至上主義から脱却してこそ野の拡大拡充を図りながら将来の日本を担う「骨太な剣士」の育成を目指している。平成28年度より現在の女子剣道の状況を鑑み、普及・発展を図るため、女子剣道選抜特別訓練も実施してきた。しかしながら、平成31年4月に実施した女子の強化訓練を最後に財政等の諸般の事情により休止の状況にあり、当委員会としては令和3年度からの復活を目指し、実施方法を再検討してきた。新型コロナウイルス感染拡大の収束まで、実施を見送らざるを得ないであろうが、引き続き訓練期間、参加人数、使用施設等、経済的負担を可能な限り軽減する方策を熟考し、リニューアルした選抜特別訓練講習会として再出発を目指している。

(4) 代表選手選考規則について

本年度は殆どの事業（講習会等）が中止となる一方で、世界選手権大会をはじめとした世界的規模で実施される大会への派遣選手の選考規則の制定に注力した。執行部役員のご指導を仰ぎながら再三小委員会で議論を重ね、選考の基準と手続きの骨組みを具体化した。本規則による選考は、我が国固有の伝統文化である剣道を正しく継承し、国内外に誇れる剣道の資質と力量を兼ね備えた人材を育成し、その能力の強化を図ることを目的としている。今後の強化選手の指定及び代表選手の選考は、本規則に則り選手選考委員会が指定、選考する運びとなる。

## 8. 居合道

令和2年度事業計画に基づき計画した各事業を実施すべく努力したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、各大会、講習会、審査会等の多くの事業が影響を受けた。5月の京都演武大会、6月・7月の東・西地区講習会、10月の全国大会は中止となつた。5月、6月、7月の審査会は延期となり、8月と11月に「審査実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を基に予防対策を徹底して審査会を実施した。

- (1) 居合道八段研修会を実施し、指導者としての意識改革を図る。

居合道八段研修会を実施できず、指導者としての意識改革を徹底することが出来なかつた。

- (2) 全国大会開催地の固定化を図る。

全国大会を令和3年度から令和5年度まで東京都で開催することとした。

- (3) 解説書を含む指導要点の見直しを図る。

解説書を含む指導要点の見直しについては、修正点の明確化と草案の作成が進行中である。

- (4) 中央講習会および地区講習会において、全剣連居合の普及を図る。

主題の中央講習会および地区講習会が中止となつたため、普及活動を行うことが出来なかつた。

- (5) 審査員・審判員となる者に対して古流の研鑽を推奨し、その習得に努める。

各講習会が中止となつたため、古流の研鑽を推奨する機会がなく、習得を促すことが出来なかつた。

- (6) 中堅指導者の審判技術および指導力の向上を図る。

各講習会が中止となつたため、中堅指導者への指導の機会がなく、審判技術および指導力について、対象者への指導が行えなかつた。

- (7) 居合道普及・発展のための調査・研究を行うとともに、問題点の改善を図る。また、各地区の居合道部会に倫理委員会を設け、各講習会において武士道精神の勉強会を行う。

居合道普及・発展のための調査・研究は実施出来ていないが、倫理委員会の設置を委員会で検討している。

## 9. 杖道

- (1) 杖道委員会は、令和2年度事業計画に基づき、各種活動実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大により大きな影響を受けた。中央講習会

(5月・勝浦市)、地区講習会(8月・和歌山市、令和3年1月・東京都)は中

止。講師派遣事業は、京都府（8月）、兵庫県（9月）を除き国内・国際のすべてが中止となった。

- (2) 6月の「対人稽古自粛のお願い」の解除に伴い、杖道委員会では、「杖道稽古再開における感染拡大予防ガイドライン」、「杖道審査会実施にあたっての感染拡大予防対策」（特記事項）の公表を行った。

- (3) 称号審査、段位審査合格者

称号	7月（5月3日付）	範士 1名	教士2名	鍊士10名
	11月		教士4名	鍊士 8名

段位	8月（5月3日付）	八段 0名	七段4名	六段10名
	1月（令和3年）		七段2名	六段 9名

5月の称号審査は7月に、八段審査は8月に延期の上実施された。七・六段の審査は例年通り実施された。受審者数、合格者数ともに例年より減少した。コロナ禍による受審控えと稽古不足が原因と思われる

- (4) 全日本杖道大会は、台風で中止となった昨年同様に本年も中止となった。

杖道委員会ではガイドラインに沿った新しい生活様式の中で、大会、講習会、審査会の安全な開催運営を目指し、杖道の普及・徹底を図るための方策の検討を重ねている。

## 10. 社会体育指導員養成

- (1) 令和2年度社会体育指導員養成講習会は、当初予定していた一般対象の講習会（初級5回、中級2回、上級2回）を、新型コロナの影響で相次いで中止とした。しかしながら、年度末に近い1月～2月に武道専門大学生対象の初級講習会のみ各大学を会場に切り換えて実施した。その結果、4大学で52名を新規に認定することができた。
- (2) 認定者の累計は、中級3,027名、上級1,063名は前年度のままであるが、初級は10,308名となった。
- (3) 一方、更新講習会は年間を通して、すべて書類申請・審査とした。その結果、更新認定者は前年度比64名増の1,024名となった。内訳は初級591名、中級255名、上級178名であった。
- (4) 年間を通して、委員会1回、小委員会4回をすべてリモートでの会議で実施した。加えて、武道専門大学の初級講習会に際しては、コロナ対策に万全を期して大学側と綿密な打合せのもと、オンラインによる講義を取り入れた。各大学の協力に謝意を表する。

## 11. 国際

新型コロナウイルス感染拡大のため海外派遣、受入を伴う事業はすべて中止された。第18回世界剣道選手権大会（18WKC）も中止が決定され関連事業も中止となった。

- (1) 18WKCは、開催が一旦令和4年5月へ延期されたが、主管団体のフランス剣道連盟から、新型コロナウイルス感染拡大などの影響で財政的に厳しくなったこと、大会会場のグランドームが使用不可となり代替会場も見つからないとの理由で主管辞退の申し入れがあり、国際剣道連盟（FIK）書面理事会により18WKC開催自体を中止することが決された。
- (2) FIK通常理事会は予定より約6か月遅れて10月にリモート開催され、全剣連選出の役員が出席した。
- (3) FIKゾーン審判講習会が3ゾーンとも中止となり、全剣連からの講師および模擬試合者の派遣は行われなかつた。
- (4) 国際委員会に、国際コミュニケーション小委員会が設置され、海外剣連の要人の意見交換を行うなどの活動を開始した。
- (5) 海外の大会、講習会、審査会への指導者派遣事業はすべてが中止となつた。
- (6) 海外からの全剣連審査受審対応は、審査会情報の発信、受付、入金確認などの業務のほか、コロナ対策として入国後2週間の健康管理票の提出など感染対策を行つた。また称号審査については、鍊士だけでなく教士についても書類審査の対応を行つた。
- (7) 北本市で計画されていた外国人剣道指導者夏期講習会は中止となつた。講習会の果たすべき役割の再確認、既受講生ネットワーク作りを開始した。
- (8) 海外剣道連盟・団体への剣道具寄贈事業は、海外物流状況の悪化により実施されなかつた。令和3年度は海外物流状況、受入団体の状況を見て判断する。
- (9) 全剣連資料の英文化については、「剣道試合・審判・運営要領の手引き」の英訳に着手、次年度以降のFIKルール化を目指す。
- (10) FIKへの支援活動は、世界アンチ・ドーピング機構の世界規程改訂に伴うFIKアンチ・ドーピングルールの改訂作業、競技会外検査の実施、リモート開催されたFIK理事会の支援、FIK書面理事会の事務処理、FIKウェブサイト改修、更新、国際競技団体連合（GAISF）、IOC非承認国際競技団体連合（AIMS）イベント支援などを行つた。
- (11) 全剣連英文ホームページの改修、更新を行つた。特に新型コロナウイルス対策関係では、対人稽古自粛、稽古自粛解除時の感染防止ガイドラインなど、コロナ禍での円滑な剣道活動に必要な情報について適宜英訳、掲載を行つた。

## 12. 広報活動ならびに物販

- (1) 月刊広報・機関誌『剣窓』の誌面内容の充実向上に努め、連載「草の根道場から」等を継続するも、コロナ禍の中で大幅な減頁での発行を余儀なくされ、定期購読者拡販も思うに任せず、部数減少傾向に拍車がかかった。『剣窓』編集小委員会は毎月1回、年間12回開催。
- (2) 広報・情報小委員会は、各専門委員会と連携を図りながら剣道における新型コロナウィルス感染症対策、稽古自粛期間中のひとり稽古（トレーニング法、図書のすすめ、有名選手のビデオメッセージ等）、各種ガイドラインの公開と補足説明などをインターネット上で発信、SNSに投稿された「ひとり稽古」に励んでいる世界中の剣道愛好家に向けて剣道普及キャラクター「ぶしし」が応援する企画も実施した。主催大会のライブ配信と結果速報は、全日本選手権大会（無観客、男女同日開催）のみ実施した。小委員会は年2回開催した。
- (3) 従来、DVDで頒布を行っていた日本剣道形、木刀による剣道基本技稽古法、全剣連居合、全剣連杖道の解説動画を公式YouTubeに公開、加えて公式ホームページに電子書籍化した日本剣道形解説書、全剣連居合（解説）、全剣連杖道（解説）の3冊も追加公開した。人気のぶししひグッズはアイロンワッペンとキーholderの2商品を新たに加えた。令和3年（2021年）「剣道カレンダー」は昨年同様7枚物の作製は中止とし、1枚物のみを10,000枚作製、頒布した。
- (4) マスメディアとの意見交換、各種情報媒体への情報提供を通じ、剣道の正しい認識と普及に努めた。
- (5) 令和3年（2021年）「剣道カレンダー」は、前年同様1枚物のみを10,000枚作製したが、コロナの影響もあり、次年度の行事日程が中々定まらず、例年の11月の頒布ではなく、年明け令和3年1月からとなった。

## 13. 文化

一般、研究者ら向けた閲覧情報提供サービスは事務局の統合・再編の為、中止した。歴史的資料などは整理・リスト化した上で倉庫保管している。

## 14. 資料

広報・資料小委員会は過去の剣窓や全剣連書籍の中から剣道愛好家に読んでいただきたい記事をピックアップ。情報小委員会と連携を図りながら公式ホームページに定期的に公開した。古いフィルム映像の復元も終え、一般公開に向けた準備を行ってい

る。小委員会は3回開催。

## 15. 医・科学

- (1) 剣道における心身の健康・安全を守るために、最新の剣道障害の予防・診断・治療等に関する情報をホームページ・冊子などで情報の提供をし、啓発活動を行う。→予定していた内容はすべて行った。コロナ禍でのトレーニング動画（ひとり稽古）や情報小委員会との連携（ぶししのひとり稽古応援 SNS キャンペーン）でのインターネットを活用した啓発活動を行うとともに、「剣道医学 Q&A」及び「救急医学ハンドブック」の内容のアップデートを適宜行うなど、啓発活動をより活性化させた。また、新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインの医・科学的支援を行ってきた。
- (2) 剣道の安全性確保の目的で、剣道における重大事故（入院に匹敵する事故）の情報収集、その分析やリスク要因の解析、事故予防策を策定するシステムを構築し、剣道事故及び障害の発生防止に努める。→予定していた内容はすべて行った。2年度は電子的に構築した「重大事故報告システム」、「熱中症報告システム」について、その結果をまとめ、全日本剣道連盟として一般向けに啓発活動を行った。今後、さらにデータベースとして集積し、座談会などを行い、啓発活動を継続する予定である。「新型コロナウイルス感染症報告システム」を電子的に構築し、令和2年末から稼働を始め、現在、データを集積中である。
- (3) 剣道用具の品質の向上・維持、規格の遵守等について、竹刀及び剣道具安全性検討特別小委員会など他の委員会と連携を取りつつ、剣道における安全性の確保に努める。→予定していた内容はすべて行った。竹刀及び剣道具安全性検討特別小委員会と連携を取りつつ、竹刀検査動画作成などにつき、医・科学的に支援を行った。今後、竹刀及び剣道具の規格に関するデータを蓄積して解析する予定である。
- (4) 強化訓練講習会等に帯同医師を派遣し、医・科学的支援および指導を行う。トレーニングコーチとの一層の連携を図りつつ、よりよい支援体制を構築する。→予定していた内容はすべて行った。強化訓練講習会がある間は、毎回、帯同医師を派遣し、トレーニングコーチとの連携を図りつつ講習生の健康維持・増進に対して医・科学的支援を行った。その後、新型コロナウイルス感染症のために強化訓練講習会は一時中止となったが、再開後も支援を継続する予定である。
- (5) アンチ・ドーピング委員会と緊密な連携を図ることにより、ドーピング防止のための啓発活動を行う。→予定していた内容はすべて行った。帯同医師が、強化訓練講習生及び一般会員に対してアンチ・ドーピングに関する講義などを行

った。今後ともアンチ・ドーピング委員会と連携してドーピング防止に関する啓発活動を継続する予定である。

## 16. アンチ・ドーピング

- (1) ドーピング防止策および関連健康管理事項（コンディショニング）を解説した「剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル」を定期的に内容チェックし、これを活用することにより、指導者、一般剣道愛好家、講習会受講生等に対し、積極的に啓発活動を行った。なお、本活動は、医・科学委員会と密接な連携を図りながら進めた。
- (2) 国体では年齢層の高い競技者に対してもドーピング検査が行われるようになっていることから、「選手のためのアンチ・ドーピング8箇条」と「使用可能薬リスト」（日本スポーツ協会作成）を、国体剣道競技の出場選手全員に渡した。
- (3) 全剣連ホームページおよび機関誌「剣窓」にドーピング防止に関する記事を定期的に掲載し、積極的に啓発活動を行った。
- (4) 主催大会や強化合宿等において、JADAの協力を仰いでドーピング・コントロール（検査管理）を行った。
- (5) 現在、中高生のためのアンチ・ドーピング教材の作成にとりかかっている。

## 17. 情報処理

- (1) 新型コロナウイルスによる緊急事態に対応した。
  - ①ファイルサーバを外部からアクセス可能とした。
  - ②VPN環境を構築し、外部から事務所のネットワークに参加しすべてのリソースへのアクセスを可能とした。
- (2) 審査会システムの継続的な改良を行い、審査会のスムーズな運営を実現した。
- (3) Office 365の導入により事務局内のOA環境の向上を図った。

## 18. 総務・経理

- (1) 本年度における監事監査に際し、有限責任あずさ監査法人を補助者として業務委託し、当該監事監査の補助をさせた。
- (2) 内閣府公益認定等委員会から「公益財団法人」の認定を受けた（令和2年9月16日付）。

- (3) ガバナンスコード適合性審査の対象団体となり、予備審査チームの審査を受けた。予備審査チームの審査を問題なく終え、自己説明を公表した。

## 19. 表彰

- (1) 剣道功労賞・有功賞の表彰（別添3参照）

第26回剣道功労賞・有功賞については、功労賞は、佐藤成明氏、奥島快男氏、大谷正俊氏の3名を選考した。また、有功賞には、65名を選考して表彰した。

- (2) 少年剣道教育奨励賞の表彰（別添4参照）

剣道の普及、将来の発展を図るために始めた「少年剣道教育奨励賞」は、17年目を迎え、少年剣道の指導面で地道な活動を重ねている団体・組織を各剣連、関係団体等に対象候補として推薦を求め、239団体を選考して表彰した。

- (3) 敬老の日（9月21日）までの1年間に、新たに90歳を迎えた剣道・居合道・杖道高段位（七段以上）の方々81名に、これまでの斯道の発展・振興への尽力と功績を称え、祝意を表明するとともに記念品を贈呈した。

- (4) 顕彰状の贈呈

故人に贈られた顕彰状は次のとおりである。

①教士八段受有者	2名
②教士七段受有者で、教士取得後20年を経過した者	30名
③剣道の普及・発展に多大の貢献をした者	0名

## 20. 評議員会・理事会・専門委員会の活動

- (1) 評議員会は3回、理事会は4回、常任理事会は6回 開催した。

- (2) 令和2年度の専門委員会は、小委員会を含め、27回 開催した。

このほか、各委員会において必要に応じ、随時打ち合わせ開催した。

- (3) 称号・段位審査の審査員選考委員会は、2回 開催した。

以上

## 「補足資料」

### 【1】評議員会、理事会等の開催状況について

1. 評議員会の開催について (計3回)

(1) 定時評議員会（書面審議） 令和2年6月22日

(審議事項)

① 令和元年度計算書類承認の件

② 評議員59名の選任について

(報告事項)

① 令和元年度事業報告の件

(2) 10月 臨時評議員会（書面審議） 令和2年10月19日

(報告事項)

① 規程・規則制定（ガバナンスコード審査関連）について

② 公益財団法人認定に伴う規程・規則改定について

(3) 3月 臨時評議員会（ZOOM併用審議） 令和3年3月16日

(報告事項)

① 令和3年度事業計画について

② 令和3年度收支予算書について

③ ガバナンスコード審査関連規程制定・改定について

④ その他規程改定・制定について

⑤ 謝金支給の10%カットについて

⑥ 令和3年・4年度役員候補者（案）

2. 理事会の開催状況について (計4回)

(1) 第1回理事会（書面審議） 令和2年6月4日

(審議事項)

① 令和元年度事業報告（案）について

② 令和元年度財務諸表等（案）及び収支計算書等（案）について

③ 評議員候補者の推薦（案）について

④ 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について

(報告事項)

- ① 令和2年度剣道有功賞顕彰の推薦について
- ② 令和2年度「少年剣道教育奨励賞」候補推薦について
- ③ 監査計画について

(2) 10月 臨時理事会 (ZOOM併用審議) 令和2年10月12日

(審議事項)

- ① 議長の代行順位並びに議長の選定について
- ② 令和2年度少年剣道教育奨励賞について
- ③ ガバナンスコード審査書類の提出について
- ④ ガバナンスコード審査関連に伴う規程の制定・改定について
- ⑤ 公益財団法人認定に伴う規程・規則の改定について
- ⑥ 専門委員会細則の改定について
- ⑦ 顧問の委嘱について
- ⑧ 臨時評議員会（書面）の開催について
- ⑨ 國際剣道連盟との商標使用許諾契約

(報告事項)

- ① 担当常任理事による業務報告

(3) 12月 臨時理事会 (書面審議) 令和2年12月24日

(審議事項)

- ① 令和2年度事業報告（4/1～9/15）について
- ② 令和2年度財務諸表等（4/1～9/15）及び収支計算書等（4/1～9/15）について

(4) 第2回理事会 (ZOOM併用審議) 令和3年3月4日

(審議事項)

- ① 令和3年度事業計画（案）について
- ② 令和3年度収支予算書（案）について
- ③ ガバナンスコード審査関連規程制定・改定について
- ④ その他規程改定・制定について
- ⑤ 臨時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について
- ⑥ 令和2年度剣道功労賞・剣道有功賞の選考について

(報告事項)

- ① 謝金支給の10%カットについて

② 令和3年・4年度役員候補者（案）について

③ 担当常任理事による業務報告

3. 常任理事会 (計6回)

(1) 第1回（メール討議）	令和2年 4月13日
(2) 第2回（書面討議）	令和2年 5月27日
(3) 第3回（ZOOM会議）	令和2年 6月 3日
(4) 第4回（ZOOM会議）	令和2年11月 2日
(5) 第5回（ZOOM会議）	令和2年12月14日
(6) 第6回（ZOOM会議）	令和3年 2月25日

4、各専門委員会

(1) 総務委員会	( 1 回 )
(2) 普及委員会	( 1 回 )
① 学校教育部会	( 2 回 )
② 指導部会	( 0 回 )
(3) 女子委員会	( 2 回 )
(4) 称号・段位委員会	( 0 回 )
(5) 試合・審判委員会	( 1 回 )
(6) 強化委員会	( 1 回 )
(7) 社会体育指導員委員会	( 1 回 )
(8) 国際委員会	( 2 回 )
(9) 居合道委員会	( 0 回 )
(10) 杖道委員会	( 0 回 )
(11) 医・科学委員会	( 2 回 )
(12) アンチ・ドーピング委員会	( 3 回 )
(13) 広報委員会	( 0 回 )
① 剣窓編集小委員会	( 12 回 )
② 広報・資料小委員会	( 3 回 )
③ 広報・情報小委員会	( 2 回 )
(14) 剣道部及び竹刀安全性検討小委員会	( 1 回 )

## 5. 審議員会

(開催中止)

## 6. その他の会議

(1) 都道府県事務局長会議

(開催中止)

(2) 専務理事・理事長会議

(1回)

令和 3年2月14日

(ZOOM)

(3) 全国組織剣道関係団体連絡会議

(1回)

令和 3年3月25日

(ZOOM)

## 【2】役員等の異動について

1. 評議員の辞任

2. 理事の辞任

3. 令和2年度中に逝去された役員等

① 最高顧問：武安義光氏

(令和3年 2月28日逝去)

## 【3】事務局職員構成

令和3年3月31日現在

	在籍	職員		嘱託	
		男	女	男	女
統括主幹	0	0	0	0	0
主幹	7	5	0	2	0
主幹代理	2	1	1	0	0
職員	18	8	8	2	0
計	27	14	9	4	0

# 令和2年度行事日程表

別添1

令和3年3月31日 公益財団法人全日本剣道連盟

		名 称	開催地	期 日	備考
大 催 主	会 催 共 催	第18回 全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市	4月19日(日) 中止	
		第68回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市	4月29日(祝) 中止	
		第116回 全日本剣道演武大会	京都市	5月2日(土)~5日(火祝)中止	
		第12回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	奈良県橿原市	7月12日(日) 中止	
		第66回 全日本東西対抗剣道大会	大分市	9月6日(日) 延期	
		第59回 全日本女子剣道選手権大会	長野市	9月13日(日) 延期	
		第59回 全日本女子剣道選手権大会	長野市	R3年3月14日(日)	
		第47回 全日本杖道大会	土尾市	10月11日(日) 中止	
		第55回 全日本居合道大会	金沢市	10月17日(土) 中止	
		第68回 全日本剣道選手権大会	東京都	11月3日(火祝) 延期	
		第68回 全日本剣道選手権大会	長野市	R3年3月14日(日)	
会 催 共 催	主 管	令和2年度全日本少年少女武道(剣道)鍊成大会		月日( )~日( ) 中止	
		令和2年度全国高等学校定期制通信制体育大会第51回剣道大会	奈良市	8月4日(火) 中止	
		第62回 全国教職員剣道大会	花巻市	8月6日(木) 中止	
		第67回 全国高等学校剣道大会	岡山市	8月15日(土)~18日(火) 中止	
		第50回 全国中学校剣道大会	岐阜市	8月20日(木)~22日(土) 中止	
		第69回 全国青年剣道大会	東京都	11月14日(土)~15日(日) 中止	
		第53回 全国教育系大学学生剣道大会	東京都	R3年2月14日(日)~17日(水) 中止	
		第43回 全国スポーツ少年団剣道交流大会	福島県	R3年3月26日(金)~28日(日) 中止	
		第30回 全国高等学校剣道選抜大会	春日井市	R3年3月26日(金)~28日(日)	
		第75回 国民体育大会 剣道大会	鹿児島県霧島市	10月4日(日)~6日(火) 延期	○
審 査 会	剣 道 審 査	六 段	京都市	4月29日(水・祝) 延期	
		七 段	"	4月30日(木) 延期	
		八 段	"	5月1日(金)、2日(土) 延期	
		八 段(代替)	東京都八王子市	10月19日(月)、20日(火)	
		称号 (範士・教士・鍊士)	"	*7/8審査会実施5月6日(水)付	
		七 段	名古屋市	5月16日(土) 延期	
		六 段	"	5月17日(日) 延期	
		六 段(代替)	姫路市	10月14日(水)	
		七 段(代替)	姫路市	10月15日(木)	
		外国人 初段 ~ 六段	北本市	8月21日(金) 中止	
		七 段	長野市	8月22日(土) 延期	
		六 段	"	8月23日(日) 延期	
		七 段	福岡市	8月29日(土)	
		六 段	福岡市	8月30日(日)	
		七 段	名古屋市	11月14日(土)	
居合道	居合道	六 段	"	11月15日(日)	
		六 段	東京都八王子市	11月22日(日)	
		七 段	東京都足立区	11月24日(火)、25日(水)	
		八 段	東京都千代田区	11月26日(木)、27日(金)	
		七 段	長野市	R3年2月20日(土)	
会 枝 道	居合道	六 段	長野市	R3年2月21日(日)	
		八 段	京都市	5月3日(日) 延期	
		八 段(代替)	京都市	8月29日(土)	
		称号 (範士・教士・鍊士)	"	*7/9審査会実施5月3日(日)付	
		六 · 七 段	上尾市	6月5日(金) 延期	
	杖 道	六 · 七 段	那覇市	7月3日(金) 延期	
		六 · 七 段	京都市	8月30日(日)	
		六 · 七 段	東京都	11月8日(日)	
		八 段	京都市	5月3日(日) 延期	
		八 段(代替)	和歌山市	8月7日(金)	
会 枝 道	杖 道	称号 (範士・教士・鍊士)	"	*7/9審査会実施5月3日(日)付	
		六 · 七 段	和歌山市	8月7日(金)	
		六 · 七 段	東京都	3年1月15日(金)	
		剣道、居合道、杖道称号「教士」筆記試験 *小論文での提出とする。	東京都、神戸市、福岡市 4月11日(土) *会場での試験は中止 東京都、名古屋市、神戸市、福岡市 11月14日(土) *会場での試験は中止		
		剣道、居合道、杖道称号 (教士・鍊士)	11月24日(火)		

備考 ○は、J S P O ・ 日本スポーツ振興センター・ J O C 等の補助金事業。

令和2年度

別添2

## 剣道・居合道・杖道各種講習会実施状況

令和3年4月13日現在

剣道講習会	開催地	期日	参加者
第55回 東日本中央講習会	勝浦市	4月5日(土)～6日(日)	中止
西日本〃	神戸市	4月5日(土)～6日(日)	中止
第25回 女子審判講習会	勝浦市	5月23日(土)～24日(日)	中止
第19回 女子審判法研修会	勝浦市	6月6日(土)～7日(日)	中止
第20回 女子審判法研修会	勝浦市	7月18日(土)～19日(日)	中止
第58回 中堅剣士講習会	奈良市	6月11日(木)～14日(日)	中止
第30回 剣道八段研修会	日野市	6月18日(木)～21日(日)	中止
第46回 外国人剣道指導者夏期講習会	北本市	8月14日(金)～20日(金)	中止
第25回 講師要員(指導法)研修会	大津市	5月30日(土)～31日(日)	中止
第26回 〃	勝浦市	12月5日(土)～6日(日)	中止
第42回 講師要員(試合・審判)研修会	勝浦市	6月13日(土)～14日(日)	中止
第43回 〃	日野市	12月19日(土)～20日(日)	中止
第6回 女子剣道指導法講習会	勝浦市	7月4日(土)～5日(日)	中止
第7回 〃	姫路市	R2年2月22日(土)～23日(日)	中止

その他の剣道講習会および研究会	開催地	期日	参加者
第18回世界剣道選手大会権 第1回男子強化合宿	奈良市	4月9日(木)～12日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第2回男子強化合宿	名古屋市	5月21日(木)～24日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第3回男子強化合宿	奈良市	6月25日(木)～28日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第4回男子強化合宿	奈良市	7月15日(水)～18日(土)	2名
第18回世界剣道選手大会権 第5回男子強化合宿	奈良市	9月15日(火)～18日(金)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第6回男子強化合宿	奈良市	10月22日(木)～25日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第7回男子強化合宿	奈良市	11月9日(月)～12日(木)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第8回男子強化合宿	東京都	12月17日(木)～20日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第9回男子強化合宿	福岡市	R3年1月21日(木)～24日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第10回男子強化合宿	愛媛県	R3年2月4日(木)～7日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第11回男子強化合宿	大阪市	R3年2月20日(土)～23日(火)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第12回男子強化合宿	熊本県	R3年3月11日(木)～14日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第1回女子強化合宿	福岡市	4月2日(木)～5日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第2回女子強化合宿	奈良市	5月6日(水)～9日(土)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第3回女子強化合宿	勝浦市	6月16日(火)～19日(金)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第4回女子強化合宿	奈良市	7月15日(水)～18日(土)	8名
第18回世界剣道選手大会権 第5回女子強化合宿	奈良市	9月19日(土)～22日(火)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第6回女子強化合宿	奈良市	10月22日(木)～25日(日)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第7回女子強化合宿	奈良市	11月9日(月)～12日(木)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第8回女子強化合宿	東京都	12月11日(金)～14日(月)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第9回女子強化合宿	勝浦市	R3年1月15日(金)～18日(月)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第10回女子強化合宿	鹿屋市	R3年2月15日(月)～18日(木)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第11回女子強化合宿	和歌山市	R3年3月5日(金)～8日(月)	中止
第18回世界剣道選手大会権 第12回女子強化合宿	未定	R3年3月20日(土)～23日(火)	中止
選抜特別訓練講習会 第八期 第1回			休止
〃〃 第2回			休止
〃〃 第3回			休止
女子選抜特別訓練講習会 第三期 第1回			休止
〃 第三期 第2回			休止
〃 第三期 第3回			休止
剣道研究会	北本市	R3年2月13日(土)～14日(日)	中止

役員・研究員含む

居合道講習会	開催地	期日	参加者
地区講習会	上尾市	6月6日(土)～7日(日)	中止
〃	那覇市	7月4日(土)～5日(日)	中止
第46回 中央講習会	京都市	8月29日(土)～30日(日)	中止

杖道講習会	開催地	期日	参加者
第29回 中央講習会	勝浦市	5月30日(土)～31日(日)	中止
地区講習会	和歌山市	8月3日(土)～4日(日)	中止
〃	東京都	R3年1月16日(土)～17日(日)	中止

剣道社会体育指導員養成講習会		開催地	期日	受講者	認定者	条件付	不合格者
初	第127回 [ 初級専門科目 ]	大津市	6月19日(金)～21日(日)	中止			
	第128回〃	盛岡市	10月23日(金)～25日(日)	中止			
	第129回〃	大村市	12月11日(金)～13日(日)	中止			
	第130回〃	仲多度郡	12月18日(金)～20日(日)	中止			
	第22回〃(学生)	各4大学	R3年1月～2月	52名	52名	0名	0名
中級	第53回 [ 中級専門科目 ]	勝浦市	10月16日(金)～18日(日)	中止			
	第54回〃	大津市	R3年2月19日(金)～21日(日)	中止			
上級	第33回 [ 上級 ]	勝浦市	R3年2月5日(金)～7日(日)	中止			
	第34回〃	赤穂市	R3年3月12日(金)～14日(日)	中止			
剣道社会体育指導員養成講習会		開催地	期日	受講者	認定者	条件付	不合格者
更 新 講 習 会	第102回 [ 初級更新 ]	大津市	6月20日(土)	書面	131名		
	第103回〃	盛岡市	10月24日(土)	書面	43名		
	第104回〃	大村市	12月12日(土)	書面	34名		
	第105回〃	仲多度郡	12月19日(日)	書面	68名		
	第106回〃	江東区	R3年1月16日(土)	書面	209名		
	第70回 [ 中級更新 ]	勝浦市	10月17日(土)	書面	25名		
	第71回〃	江東区	R3年1月17日(日)	書面	71名		
	第72回〃	大津市	R3年2月20日(土)	書面	87名		
	第44回 [ 上級更新 ]	江東区	R3年1月17日(日)	書面	83名		
	第45回〃	勝浦市	R3年2月6日(土)	書面	13名		
	第46回〃	赤穂市	R3年3月13日(土)	書面	48名		

No.	R2年度全剣連後援 剣道講習会	県名	開催期日	希望種目			参加者
				指導法	審判法	日本剣道形	
1	〃	長崎	5月9日(土)	指導法			中止
2	〃	東京	5月23日(土)		審判法	日本剣道形	中止
3	〃	宮城	6月28日(日)		審判法		中止
4	〃	福岡	6月28日(日)			日本剣道形	中止
5	〃	島根	9月26日(土)～27日(日)	指導法	審判法		中止
6	〃	広島	9月26日(土)～27日(日)		審判法	日本剣道形	中止
7	〃	和歌山	10月11日(日)			日本剣道形	中止
8	〃	新潟	10月17日(土)～18日(日)	指導法		日本剣道形	中止
9	〃	香川	10月17日(土)		審判法		中止
10	〃	福井	10月18日(日)		審判法		中止
11	〃	北海道旭川市	10月25日(日)		審判法		中止
12	〃	愛知	11月1日(日)		審判法		中止
13	〃	大分	11月28日(土)		審判法		中止
14	〃	茨城	R3年1月31日(日)		審判法		中止
15	〃	大阪	R3年2月28日(日)			日本剣道形	中止
16	〃	三重	未定			日本剣道形	中止
17	〃	学連	未定		審判法		中止

#### 令和2年度 全国剣道指導者研修会

共催講習会	全国剣道指導者研修会	主催剣連	期日	講習課目			参加者
	東日本ブロック・千葉県 (日本武道館研修センター)			指導法			
	西日本ブロック・奈良県 (奈良市中央武道場)	学校連盟	11月20日(金)～22日(日)	指導法			中止

令和 3 年 3 月 14 日  
公益財団法人全日本剣道連盟

令 和 2 年 度 ( 第 2 6 回 )  
剣 道 功 労 賞 受 賞 者

佐 藤 成 明 ( さとう なりあき ) 茨 城 県

(昭和 13 年 4 月 28 日生 83 歳)

筑波大学名誉教授・国士館大学客員教授 剣道範士八段

元全日本剣道連盟 常任理事・審議員

元全日本学生剣道連盟副会長

関東学生剣道連盟会長

昭和 36 年東京教育大学（現筑波大学）卒業後、同大学の講師・助教授を務められ平成 3 年より教授に就任。全日本学生剣道連盟副会長を歴任され、現在も関東学生剣道連盟会長の要職にあり、長年にわたり学生剣道界に貢献されている。

また、全日本剣道連盟においても国際委員会をはじめ学校教育委員会・普及委員会・試合審判委員会・称号段位委員会などの委員を歴任、特に「幼少年剣道指導要領」改訂版、「木刀による剣道基本技稽古法」の作成に特に尽力された。

奥 島 快 男 ( おくしま よしお ) 京 都 府

(昭和 12 年 1 月 3 日生 84 歳) 剑道範士八段

全日本剣道連盟 相談役（元 副会長・常任理事・審議員）

元京都府剣道連盟 副会長 京都府警察 剣道名誉師範

東レ滋賀工場剣道部師範 京都大学剣道部師範

広島県立府中高校卒業後、京都府警察官を拝命され各種大会に出場、主席調査官兼剣道主席師範となられる。京都府剣道連盟の要職を歴任され、全日本剣道連盟の主要行事である全日本剣道演武大会の運営に尽力された。

全日本剣道連盟においては、平成 13 年に常任理事に就任され、各委員会委員長を務められ、19 年より審議員、27 年より再度常任理事に就任後、29 年より副会長に就任され、現在の全日本剣道連盟の土台を築いた功績は多大である。

大 谷 正 俊 (おおたに まさとし)

東 京 都

(昭和10年10月16日生 85歳)

元全日本剣道連盟 専務理事・常任理事・審議員 剣道七段

元東京都なぎなた連盟会長

一橋大学を卒業し、昭和34年日本鉱業株式会社に入社。鹿島石油株式会社取締役総務部長、常務取締役を経て、平成9年セバック株式会社代表取締役社長などを歴任され平成13年退任された。

全日本剣道連盟においては、平成3年より参与、常任理事・監事を歴任され、平成13年より専務理事に就任、19年からは審議員となられ、剣道の普及・発展に尽力された。

以 上 3 名

## 令和2年度 第26回剣道有功賞 受賞者

公益財団法人 全日本剣道連盟

令和3年3月14日

NO	氏名	推薦団体名	年齢	備考
1	出村勝明	北海道	71歳	江差剣道連盟会長
2	長谷川勝利	北海道	75歳	北海道剣道連盟名誉会員
3	石橋恒夫	青森	79歳	青森県剣道連盟理事
4	菅原孝雄	秋田	76歳	鹿角剣道連盟会長
5	金森正幸	山形	77歳	山形県剣道連盟監事
6	金澤龍一	岩手	78歳	元釜石剣道協会会長
7	鈴木源二郎	宮城	86歳	仙台市青葉区剣道連盟会長
8	久保木義明	福島	71歳	福島県剣道連盟副会長
9	糸賀睦夫	茨城	73歳	茨城県剣道連盟常任理事
10	大都弘道	茨城	74歳	茨城県剣道連盟評議員
11	佐藤政次	群馬	78歳	群馬県剣道連盟常任理事
12	塩入宏行	埼玉	78歳	元全日本剣道連盟国際委員
13	大室泰二	埼玉	82歳	元埼玉県剣道連盟監事
14	熊谷義成	東京	86歳	港区剣道連盟相談役
15	湯川岩雄	東京	79歳	大田区剣道連盟会長
16	竹下 耐	東京	78歳	杉並区剣道連盟副会長
17	矢光善美	東京	74歳	文京区剣道連盟会長
18	小沢春康	千葉	76歳	習志野市剣道連盟顧問
19	関謙次郎	千葉	79歳	千葉県剣道連盟居合道部副理事長
20	田所健一	神奈川	79歳	保土ヶ谷区剣道連盟会長
21	加藤圭伊子	神奈川	73歳	港北区剣道連盟常任理事
22	長久保武彦	山梨	80歳	山梨県剣道連盟顧問
23	青山 獻	新潟	76歳	元新潟県剣道連盟副会長
24	高嶋淳一	石川	74歳	石川県剣道連盟顧問
25	広浜 了	富山	73歳	富山県剣道連盟副会長
26	山田昭榮	福井	78歳	越前市剣道連盟会長
27	堀川健治	長野	68歳	長野県剣道連盟上水内支部支部長
28	黒川哲司	静岡	71歳	静岡県剣道連盟顧問
29	高橋文也	静岡	73歳	元静岡県剣道連盟理事 居合道・杖道委員長
30	後藤英壽	愛知	78歳	愛知県剣道連盟相談役
31	松本利幸	愛知	77歳	尾張剣道連盟理事長
32	古賀幸雄	岐阜	84歳	元岐阜県剣道連盟理事
33	坂 喜一郎	三重	76歳	四日市剣道協会会長

NO	氏名	推薦団体名	年齢	備考
34	内藤 弘 ないとう ひろむ	滋賀	74歳	高島市剣道連盟会長
35	野崎 正 のさき ただし	京都	77歳	元京都府剣道連盟常任理事
36	甲斐勝征 かい かつゆき	京都	76歳	京都府剣道連盟剣道段位審査員
37	高田栄一 たかだ えいいち	大阪	70歳	大阪府剣道連盟参与
38	讚岐美津二 さぬき みづじ	大阪	70歳	大阪府剣道連盟参与
39	宮川盛行 みやかわ もりゆき	奈良	78歳	奈良県剣道連盟顧問
40	阿砂利 剛 あ じやり つよし	和歌山	73歳	和歌山県剣道連盟常任理事
41	熊本 博 くまもと ひろし	和歌山	79歳	和歌山県剣道連盟元居合道委員
42	大森昭一 おおもり しょういち	兵庫	91歳	元兵庫県剣道連盟評議員
43	今富豊紀 いまとみ とよ のり	兵庫	79歳	兵庫県剣道連盟相談役
44	平野武彦 ひらの たけひこ	兵庫	78歳	兵庫県剣道連盟理事・監事
45	久山雅生 くやま まさ お	岡山	75歳	西大寺剣道連盟理事長
46	萩原弘行 はぎわら ひろゆき	広島	86歳	元福山市剣道連盟理事
47	加藤 尚 かとう たかし	広島	76歳	三次地区剣道連盟相談役
48	河野通晴 かわの みちはる	山口	78歳	柳井市剣道連盟会長
49	山根幸信 やまね ゆきのぶ	鳥取	71歳	元鳥取県剣道連盟副会長
50	田中直文 たなか なおふみ	島根	78歳	島根県剣道連盟顧問
51	修理輝男 しゅり てる お	香川	79歳	香川県剣道連盟名誉顧問
52	大原國一郎 おおはら くに いちろう	愛媛	73歳	愛媛県剣道連盟相談役
53	小松武利 こまつ たけとし	高知	71歳	元中芸地区剣道連盟会長
54	美馬勝行 みま かつゆき	徳島	74歳	徳島県剣道連盟審議員
55	菊次正行 きく つき まさゆき	福岡	83歳	元大牟田市剣道連盟監事
56	廣松守正 ひろまつ もりまさ	福岡	82歳	大川市剣道連盟相談役
57	川上春生 かわかみ はるお	佐賀	73歳	佐賀県剣道連盟審議員
58	川邊一郎 かわべ いちろう	長崎	85歳	長崎県剣道連盟居合道部顧問
59	長谷部重人 はせべ しげと	大分	76歳	元大分県剣道連盟副会長
60	森田精一 もりた せいいち	熊本	76歳	菊池郡市剣道連盟会長
61	鶴丸俊郎 つるまる としろう	宮崎	76歳	宮崎県剣道連盟常任理事
62	光 博己 ひかり ひろみ	鹿児島	72歳	元鹿児島県剣道連盟理事
63	山城英瞳 やましろ ひで あき	沖縄	82歳	元島尻郡剣道連盟会長
64	森 節 もり たかし	全日本学生	80歳	九州学生剣道連盟顧問
65	小森園 誠 こもりぞの まこと	全日本学校	69歳	全日本学校剣道連盟常任理事

## 令和2年度 少年剣道教育奨励賞 受賞団体

別添4

公益財団法人 全日本剣道連盟

令和2年11月3日

	1 北海道	2 青森	3 秋田	4 山形	5 岩手	6 宮城	7 福島	8 茨城
1	青空瑞山会	大間小学校剣道部	昭和剣道スポーツ少年団	鶴陵剣道スポーツ少年団	愛宕剣道スポーツ少年団	湯殿山剣道ボーッ少年団	鎌田剣道スポーツ少年団	岩間剣友会
2	札幌翔武館剣道会	三沢少年剣道隊		藤島剣道スポーツ少年団		蓮心館	宏武館 剣道ボーッ少年団	松岡剣士会
3	花川緑葉剣道ボーッ少年団			青葉剣道スポーツ少年団		八木山剣道クラブ	白河立教館スポーツ少年団	龍ヶ崎馴柴剣友会
4	鷹栖剣道少年団			高橋剣友会スポーツ少年団		立志会	相馬市少年剣道教室	大子剣友会
5	芦別剣道連盟						揚土剣友会	一般財団法人 相知館
6	羅臼剣道スポーツ少年団							小川少年剣友会
7	苔小牧如水館							堅倉剣道ボーッ少年団
8	浦河潮見道場							河原子剣志会
9								横堀剣道ボーッ少年団
10								明信館剣道ボーッ少年団
11								協和剣道ボーッ少年団
12								仁武館剣道教室
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計	8	2	1	4	1	4	5	12

	9 栃木	10 群馬	11 埼玉	12 東京	13 千葉	14 神奈川	15 山梨
1	烏山剣道教室	尚武館	谷塚剣友会	二吾嬬剣友会	秋流剣友会	桜木剣友会	斎正館 瀧本道場
2	大田原少年剣道教室	中之条剣道教室	花栗剣友会	上平井剣友会	警視庁東大和警察署	剣和会	甲南剣友会
3			杉戸西剣友会	新小岩剣友会		少年剣道会	小淵沢剣道ボーッ少年団
4			大利根剣友会	梅本少年剣友会	警視庁石神井警察署	北習志野高郷剣友会	清明館
5			三ヶ島剣友会	小台宮城剣友会		少年剣道部	中津少年剣道同好会
6			柏原剣友会	渕江剣友会	本所警察署少年剣道部	春風館少年剣友会	泉剣道スポーツ少年団
7			武藏台剣友会	白鷺一心会剣道教室	警視庁上野警察署	下総剣友会	久里浜剣士会
8			滑川町剣道少年団	桜誠会		少年剣道部	平塚市剣道連盟北部支部
9			戸田市ボーッセンター剣道教室	下北沢剣道教室「参の会」	警視庁高島平警察署	流山警察署少年剣道クラブ	上鶴間剣道クラブ育成会
10			指扇少年剣士会	港区ボーッセンター少年剣道		飯島道場	
11			大宮輝誠剣友会	大山青少年剣友会	少年剣道部		信道館武道場
12			大宮南剣友会	武藏野中央剣道会	警視庁富坂警察署		市場剣志会
13			楓の森剣友会	三鷹武道館		少年剣道部	霧が丘剣友会
14			剣心会	桜剣友会	警視庁深川警察署		宮前少年剣友会
15			上里町剣道スポーツ少年団	国分寺剣友会 第六道場		少年剣道部	之久会道場
16			皆野剣友会	羽村西剣道教室	警視庁目白警察署		大和市渋谷剣友会
17			蕨警察署少年剣道教室	鶴川剣道教室		少年剣道部	心剣会藤沢
18				若葉台剣道会	第三機動隊少年剣道部		山桜剣道クラブ
19				青梅鍊心館	警視庁第七機動隊		
20				小曾木剣道会	少年剣道部		
計	2	2	17	31	9	17	3

	16 新潟	17 石川	18 富山	19 福井	20 長野	21 静岡	22 愛知	23 岐阜
1	頸城大瀧剣道教室	松陽剣道スポーツ少年団	求道館	芦原少年剣道教室	中野市豊田剣道教室	伊豆長岡剣道スポーツ	平和剣道クラブ	土岐津剣道少年団
2		鹿島少年剣道教室		小浜少年剣道教室	白馬開拓使館	少年団	大里東スポーツ少年団剣道部	さくら会少年剣道部
3					梓川少年剣道教室	正剣会原剣道クラブ	長久手市スポーツ協会剣道部	安八剣道少年団
4					富士見町剣道スポーツ少年団	片浜剣誠会	長久手市剣道教室	八木山剣道少年団
5					和田剣道クラブ	新居町剣道スポーツ少年団	豊臣剣友会	岐南剣道スポーツ少年団
6							桜井剣道クラブ	
7							東陽スポーツ交通少年団	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計	1	2	1	2	5	4	6	5

	24 三重	25 滋賀	26 京都	27 大阪	28 奈良	29 和歌山	30 兵庫	31 岡山
1	誠和会	守山剣友会	京都剣正志会	なんば養正会	当麻剣道クラブ	中之島少年剣道クラブ	春日台剣友会	作東剣道スポーツ少年団
2		稻枝東スポーツ少年団	八木町剣道スポーツ少年団	修猷館			平野剣道教室	木之子剣道スポーツ少年団
3		剣道部誠鍊会	舞鶴剣道教室西道場	岡山剣友会			西宮剣志会	平島剣道スポーツ少年団
4		和迩スポーツ少年団志賀剣道	岩滝少年剣道教室	浪速少年武道会			西宮上ヶ原剣道会	福浜剣道スポーツ少年団
5		栗東守道館		少年剣道部			播磨町少年剣道クラブ	
6			天満少年柔剣道推進会				三木平田少年剣道教室	
7			岸和田少年剣道推進会				高砂剣道教室剣誠会	
8			高石警察少年剣道推進会				ゆめさき剣友会	
9			少路剣道クラブ				上月剣友会	
10							日本製鉄剣道教室	
11							すずかけ剣友会	
12							能勢武勇館	
13							丹波市剣道連盟少年部	
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計	1	4	4	8	1	1	13	4

	32 広島	33 山口	34 鳥取	35 島根	36 香川	37 愛媛	38 高知	39 徳島
1	引野剣友会	中浜道場	北条剣道スポーツ少年団	北陽剣道スポーツ少年団	滝宮剣道会スポーツ少年団	角野剣道会	野市少剣	市場剣道教室
2	凜風館道場	明木剣道スポーツ少年団		伯太剣道教室		久米剣道会		宅宮剣道倶楽部
3	深津剣道少年団	大剣会				五十崎剣友会		
4	比治山学区剣道クラブ							
5	湯来南剣友会							
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計	5	3	1	2	1	3	1	2

	40 福岡	41 佐賀	42 長崎	43 大分	44 熊本	45 宮崎	46 鹿児島	47 沖縄
1	大野東剣道スポーツ少年団	秀正館	上荒川雄剣会	宗方少年剣友会	小川少年剣道クラブ	高原剣道スポーツ少年団	市来さざなみ剣道	西原剣道クラブ
2	福岡如水館	興武館	剣和会	三和剣友会	苓北少年剣道クラブ		スポーツ少年団	
3	柏屋西剣友会	有田洗心館道場	島原修悠館				屋久島剣友館	
4	東郷少年剣道教室		野母崎剣士会				大成武道館	
5	和白東少年剣道部							
6	西門司剣友会							
7	春風館							
8	遠賀剣道教室							
9	吉富町武道館							
10	少年剣道教室							
11	武揚館道場							
12	北天館							
13	隆将館							
14	福岡大我塾							
15	桜雲館剣道部							
16								
17								
18								
19								
20								
計	14	3	4	2	2	1	3	1

	48 道場連盟	
1	松濤館（秋田県）	
2	魚沼剣道クラブ（新潟県）	
3	新松戸南剣幸会（千葉県）	
4	育誠館道場（広島県）	
5	心成館もみじ道場 (広島県)	
6	高知至誠館（高知県）	
7	脊振町剣道育成会 脊輝振館（佐賀県）	
8	健心会（佐賀県）	
9	高岡練土館（宮崎県）	
10	青竜館（大分県）	
11	糸満剣志会（沖縄県）	
12		47 都道府県
13		+ 道場連盟
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
計	11	239